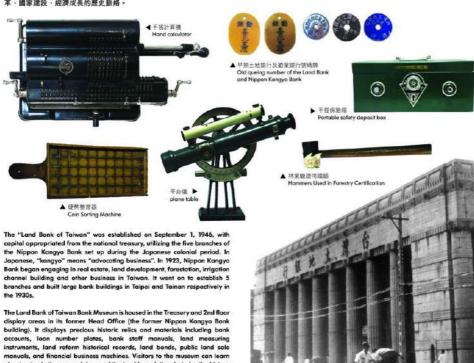


「臺灣土地銀行」於西元1946年9月1日由國庫榜充資本、以日本勸業 銀行在臺設置之支店為據點正式成立。日文「勸業」即有提倡實業的意 思,西元1923年,日本勸業銀行來臺經辦不動產、土地開發、滋林及 埤圳水利等事業,相繼設立五大分行,並於西元1930年代在臺北、臺 南兩處分行分別興建大型銀行廳舍。

土地銀行行史館以土地銀行舊總行(勸業銀行舊度)之金庫及二樓展 區,展出早期的銀行帳冊、放款號碼牌、行員手冊、土地測量儀器、土 地改革史籍、土地實物債券、公地放領手冊、金融事務機器等難得一見 的珍貴文物史料,讓走訪土地銀行行史館的民眾,除了可以深入瞭解土 地銀行一路走來的更迭演進,更得以窥探臺灣近代金融發展、土地改 革、國家建設、經濟成長的歷史脈絡。

「台湾土地銀行」は1946年9月1日に国庫より資本を充当し、日本勧業銀行が台湾にお ける支店として設立しました。「勧業」とは「実業を提唱する」という意味であり、1923 年に日本新業銀行は台湾で不動産、土地開発、治林及び水利工事などの事業を行うた め、五大支店を設立しました。そして1930年に台北と台南で大型銀行を建てました。

土地銀行史料室は旧土地銀行本店(旧日本勧業銀行台北支店)の金庫と二階を展示室 としております。展示しているものは、早期の銀行帳簿、貸付番号札、銀行員の手帳、土 地丈量の機械、土地改革に関する歴史文献、土地債券の実物、「公地放領」政策に関す る手引き、金融事務に関する機器など貴重な史料があり、訪れに来た人は土地銀行が これまで歩んできた道のりが理解できるほか、さらに台湾近代の金融発展、土地改革、 国家建設、経済成長の歴史過程について認識できるようになります。





about not only the ups and downs of the bank's evolution, but also the history of the development of finance, land reform, national construction, and economic growth in modern Taiwan.

應様取自 土地銀行於民國45年發行之「都市平均地權債券」

The pattern of this graph design is from the "Specimen page of Certificate of Land Loan for implementation of the Equal Land Rights Policy in urban areas" issued by the Land Bank in 1956.



闸梯取自 土地銀行第一版行徽之「台土銀」字樣 The center Chinese characters of this graph design is from the first edition of the Land Bank logo.



圖模取自 土地銀行於民國40年發行之《土銀通訊》 The center pattern of this graph design is from the Land Bank Journal published in 1951.

